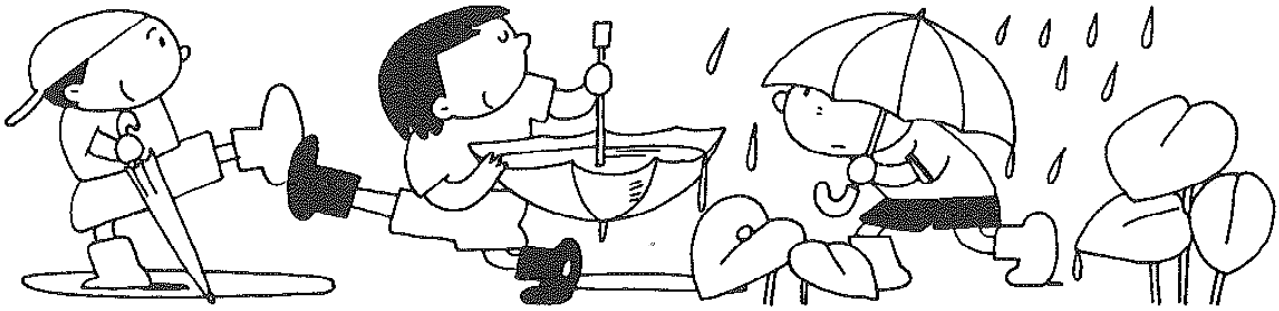
事務局ニュース12-NO.1 2012. 6. 15 埼玉県学童保育連絡協議会
〒 330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-147-1藤本ビル３Ｆ
TEL048-644-1571 FAX 048-644-1572
http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/ Ｅメール gakudoust@yahoo.co.jp
【郵便振替】00160-7-93727 埼玉県学童保育連絡協議会

県連協総会・研究集会・「全国研in埼玉」クラブ担当者集会へのご参加、ありがとうございました

①県連協第１回代表委員会は７月７日（土）18時15分です
②「全国研in埼玉」第４回実行委は７月14日（土）17時45分です



５月27日、上尾市文化センターにて、埼玉県学童保育連絡協議会（県連協）の定期総会（午前）と第40回県学童保育研究集会と第１回「全国研in埼玉」クラブ担当者集会（それぞれ午後）を開催しました。

■ 県連協からの報告（^_^）v

１．５月27日、第40回県連協総会を開催

総会には、約180人の保護者と指導員が出席。来賓として小池少子化対策局長、県議会議員、関係諸団体の方々が出席され、たくさんの祝電・メッセージが届きました（**※詳しい内容は後日、全世帯配布のニュース『さいたまの学童ほいく』にてお知らせします**）。

昨年３月11日の東日本大震災を契機として、県連協としては、安全安心の学童保育づくりに力を入れてきました。学童保育単位で安全管理にとりくむことと併せて、行政に対して安定した制度・施策づくりを求めてきました。現在、政府は、公的保育制度の市場化を目的とした「子ども・子育て新システム」を進めようとしています。また、指定管理者制度の導入も依然として進んでいます。総会では、制度を後退させるこうした動きを阻止し、安定した学童保育の制度づくりを進めることを確認しました。また、「利用者サービス」を強調する企業等が運営する「学童保育」が誕生するなかで、私たちがこれまで大切にしてきた保護者と指導員との「共同の子育て」の考え方を再確認し、保育内容をつくっていくこと、また、10月６・７日の「全国研in埼玉」を成功させることなどを確認しました。

※総会の当日資料を各クラブ１部添付しました。

２．同日、研究集会+「全国研in埼玉」集会

午後は、41市町629人（※2011年＝43市町から694人、10年＝43市町村837人、09年＝50市町866人）の参加がありました。

今回の研究集会は、「全国研in埼玉」クラブ担当者集会も兼ねる形で開催しました。

冒頭、昨年の石川集会をの様子DVDで視聴し、県連協の薄井会長（「全国研in埼玉」実行委員長）と全国学童保育連絡協議会の木田会長のあいさつに続いて特別報告を行いました。報告者は、保護者の立場から**小椋純子さん**（飯能市）、指導員の立場から**大西鉄平さん**（秩父市）でした。続いて研究集会恒例の永年勤続指導員への表彰を行い、薄井会長から10年・20年・30年の指導員41人に対して感謝状と記念品が渡され、永年勤続者を代表して30年目の**平石恭子さん**（所沢市）があいさつしました。

休憩後、「全国研in埼玉」実行委員会の各部から準備状況と地域やクラブへのお願いの発言。県連協５ブロックから１人ずつ、「全国研in埼玉」に向けたとりくみや意気込みについて発言がありました。

続いて、昨年の全国研・石川集会で好評だった**金森俊朗氏**（北陸学院大学人間総合学部教授）の記念講演。最後は、「全国研in埼玉」成功に向けて、薄井会長指揮による「学童保育応援チャント」を参加者全員で「学童保育チャチャチャ！」と唱和し、大いに盛り上がりました。

３．埼玉県の動き

（１）少子政策課「平成24年度児童健全育成事業担当者説明会」開催　5月14日（月）

市町村の学童保育や児童館等の事業に関わる職員を対象とした標記の会議を開催しました。障害者自立支援課も出席しました。

会議では、①「放課後児童クラブ施設整備関係補助」②平成24年度放課後児童健全育成事業（学童保育）補助内容　③「放課後等デイサービス」等について説明しました（**※配布資料で学童保育に関するものを『埼玉の学童ほいく－2012年度資料集』42～54ページに掲載しました**）。

また県は、５月24日付けで「**埼玉県放課後児童クラブ整備費補助金交付要綱**」と「**埼玉県放課後児童クラブ環境整備事業費補助金交付要綱**」を市町村へ送付しました（**※別紙ｼﾛ**）。

（２）「第１回学校・家庭・地域連携推進委員会」（※県連協へ委員を委嘱）開催　5月23日（水）　於：知事公館

「学校応援団推進事業」「放課後子ども教室推進事業」「埼玉の子ども70万人体験活動」をどう進めていくかについて県教育局から提案がありました。県連協から薄井会長が出席。

薄井会長が「放課後子ども教室推進事業と放課後児童クラブ（学童保育）事業は目的と対象が異なる」ことの確認を求め、「その通り。別々の事業として連携する」旨の回答を得ました。

（３）「平成24年度防犯のまちづくり推進会議総会」開催　5月25日（金）　於：埼玉県県民健康センター

県は、「犯罪を起こさせにくい地域環境づくりを行う防犯のまちづくり」を進める趣旨から標記会議（会長＝県知事）を設けています。144団体の１つに県連協が名を連ねています。

４．　国の動き

（１）「子ども・子育て新システム」をめぐる動き

１．5月８日から　国会で審議入り

「社会保障・税一体改革」関連法案として、消費税増税、年金「改正」、「子ども・子育て新システム」等の７法案が５月８日から衆議院で審議入りしました。

５月10日、衆議院本会議で以下のような質疑応答がありました。

【質問者】泉健太議員（民主党）「最後に、２つ伺います。１つは、放課後児童クラブ制度の充実です。小一の壁のみならず、小四の壁の解消を望む声、そして質的基準の設定を求める全国の声、これは、各党や超党派の議連からも訴えてまいりました。それにどう応えようとしているのか。」

【回答者】小宮山洋子（厚生労働大臣・少子化対策特命大臣）「放課後児童クラブの制度の充実についてですが、児童福祉法上、４年生以上も含む全ての小学生が対象となることを明確にするとともに、一定の質を確保するため、職員の資格や員数などの基準について、国が定める基準により、市町村が定める仕組みにします。また、子ども・子育て支援法に基づき、市町村が地域のニーズを把握して策定する市町村子ども・子育て支援事業計画に従って事業を実施する仕組みにすることにより、現行制度よりも、質、量ともに改善を図っていきます。」

２．４月26日、内閣府が主催した都道府県担当者会議で説明しました（※別紙ｼﾛ）

この会議での厚生労働省の説明について、全国連協事務局が担当課にお聴きしました。以下はその内容です。

「子ども・子育て新システム」のために税財源から7,000億円を追加することを政府としては決定した（消費税増税が前提となる）。

①**量的拡大**に4,000億円（0.4兆円）を追加（うち、放課後児童クラブに対しては100億円）。

2012年度の計上運営費を、地方負担分も含めて800億円と計算し、それに100億円追加する。現在（2012年度）83万人の利用を2017年度に129万人（46万人増）とするために支出。

②**質の向上（職員体制の強化）**に3,000億円（0.3兆円）を追加（うち、放課後児童クラブ分の額は不明）。職員配置について、子ども・子育て新システム基本制度ワーキングチームで出されていた常勤配置（８時間勤務）は有力な方法だが、まだ決まっていない。常勤配置の場合は、１人当たり450万円をベースに運営費補助を算定する。常勤が１人なのか複数なのかは未定。

（２）厚生労働省の動き　大阪市の放課後児童クラブへの来所時の交通事故を受けて、５月15日、事務連絡「放課後児童クラブにおける来所・帰宅時の安全確保について」を発出しました（**▲別紙ｼﾛ**）。

５．　全国学童保育連絡協議会等の動き

（１）全国合宿研究会を開催　５月12日（土）～13日（日）於：さいたま共済会館

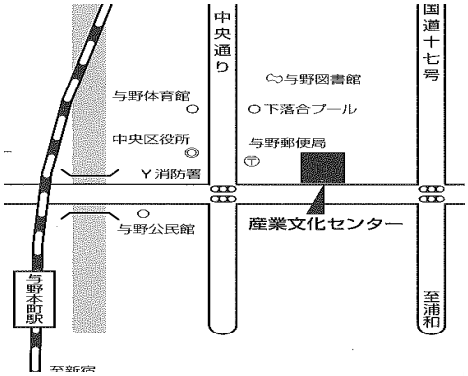
【テーマ】「市町村の設置・運営基準をつくらせていく運動の課題と連絡協議会づくり」

新システムは、「市町村は、放課後児童健全育成事業の設備及び運営について、条例で基準を定めなければならない」（児童福祉法改正（案）第34条の８の②）、「市町村は、…地域子ども・子育て支援事業を総合的かつ計画的に行うこと」「市町村及び都道府県は、…５年を１期とする…地域子ども・子育て支援事業の…計画を定める」（子ども・子育て支援法案要綱）として市町村の責務を明記しています。そうした状況を受けてのテーマ設定でした。「市町村に設置運営基準をつくらせた取り組み」としてさいたま市学童保育連絡協議会が報告しました。

（2）全国運営委員会を開催　5月13日（日）於：さいたま共済会館

政府への要望事項の討議、『日本の学童ほいく』誌の普及拡大、「全国研in埼玉」への参加組織等について討議しました。埼玉県連協から「全国研in埼玉」の準備状況を報告しました。

県連協からお知らせ・お願い　(^0^)



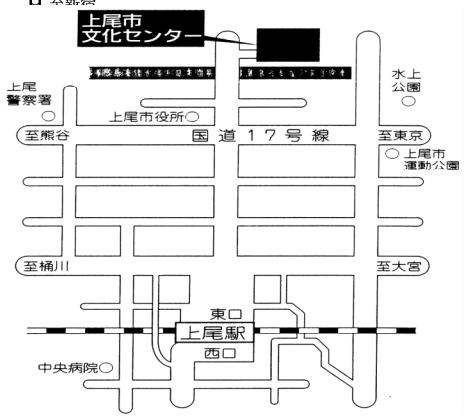
1．第１回県連協代表委員会へご出席を！

□日時：7月7日（土）18:00開場　18:15開会

□会場：さいたま市産業文化センター301

【交流】①地域連協等から2012年度の方針の重点　②地域連協・クラブの活動、行政との関わりで特徴的な動き

【議題・交流】①県連協から方針の具体化の提案と討議　②「全国研in埼玉」への参加組織その他のとりくみ　③その他



2．「全国研in埼玉」第４回実行委員会にご参加を！

□日時：7月14日（土）17:30開場　17:45開会

□会場：上尾市文化センター201

【内容】①幹事会・各部から現在までの準備状況の報告と討議　②各地から参加組織の状況報告　③各部に分かれて会議

3．『埼玉の学童ほいく～2012年度資料集』（500円）をご活用下さい！

毎年、発行している県内の学童保育のデータ・資料集です。

今年度は特に、①県内の学童保育の詳細な実態調査とその分析　②「県放課後児童クラブ運営基準点検表集計結果」　③指定管理者制度導入において「随意指定」のルールを定めている市町村資料　④「放課後等デイサービス」関連資料等、貴重な資料が満載です。学童保育の役員は必携、各学童保育に１冊は常備しましょう。　**※ＦＡＸないしＥメールにてお申し込み下さい。**

4．「みんなでほいく誌！埼玉」６月号を配布（各クラブ４枚）しました

指導員連協ルートで配布しました。手元に届かない場合は、県連協までご連絡下さい。

ＦＡＸ送信048（644）1572　Eメール gakudoust@yahoo.co.jp

（送り先）　氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話＿＿＿＿＿＿＿＿　ＦＡＸ＿＿＿＿＿＿＿＿　メール＿＿＿＿＿＿＿＿

「埼玉の学童ほいく～2012年度資料集」（500円）希望部数

［　　］**部送って下さい。**